

教材教員名	文字とミニチュアのマッチング	分類	記号を使う学習 — 単語
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	・ひらがなで書かれたそのものの名前とミニチュアをマッチングする。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・製氷皿とミニチュアを分けて置いておく。
- ・皿の底に書かれたひらがなとミニチュアをマッチングする。

<工夫点>

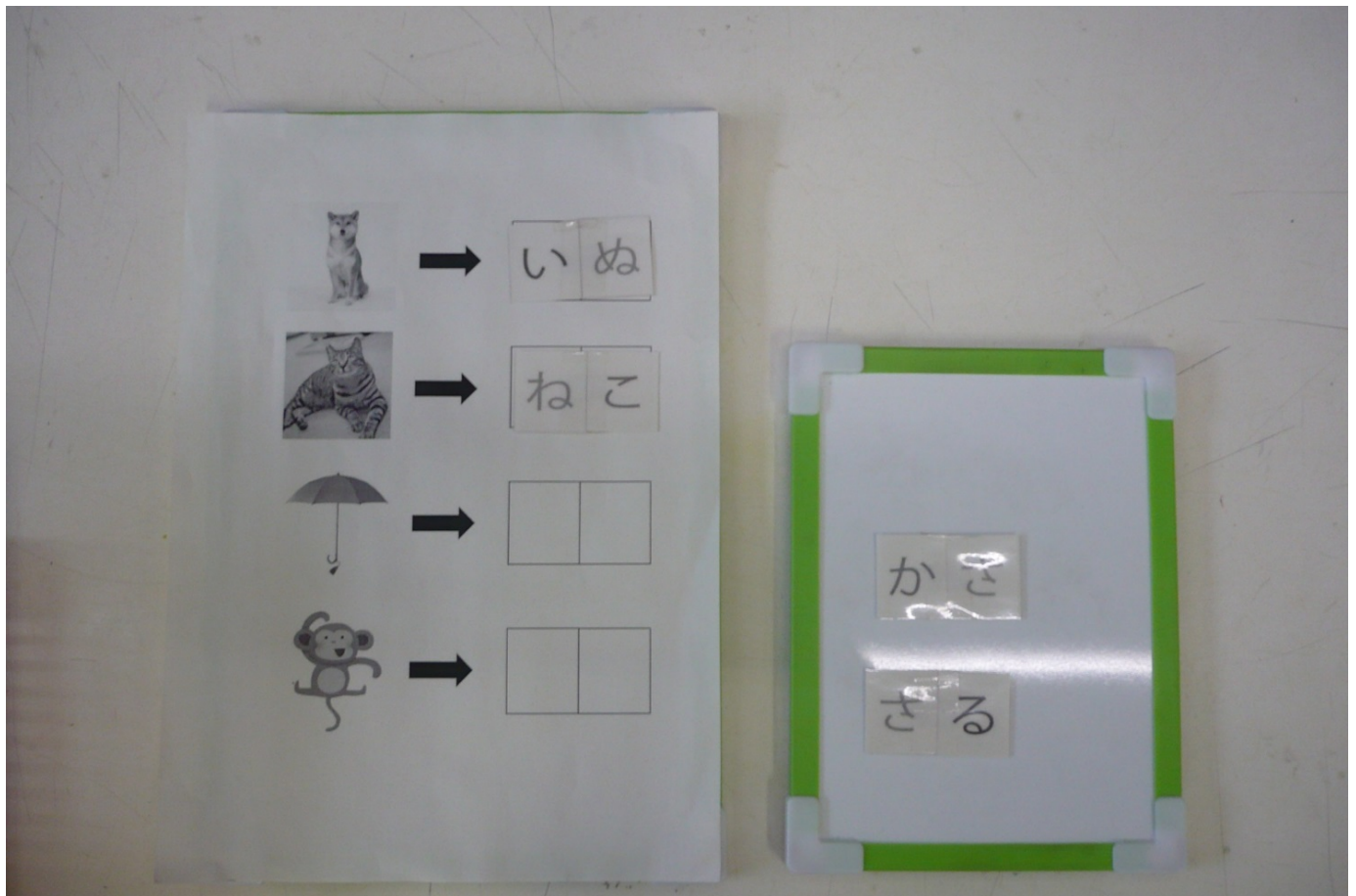
- ・対象児童に身近なくだものを設定した。

<効果>

- ・すぐに正しくマッチングすることができた。

教材教員名	ひらがな2文字の単語	分類	記号を使う学習 - 単語
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 写真を見て、名前カードを選ぶことができる。 		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- 写真を見て、その絵の名前カードを選んで貼る。

<工夫点>

- 名前カードをひらがな2文字のまとまりにして、単語として捉えることができるようにした。

<効果>

- 写真の横に適切な名前カードを貼ることができた。

教材教具名	ひらがなの学習（1）	分類	記号を使う学習 — 単語
		授業名	個別課題※国語算数相当（小学部）
ねらい	・ピクトグラムの絵カードとひらがなの単語のマッチングすることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・左の選択肢を右のピクトグラムの絵カードへ合わせる。

<工夫点>

- ・ピクトグラムの絵カードを見やすくするため、背景を黒にした。

<効果>

- ・普段予定カードで見ているピクトグラムの絵カードと文字のマッチングを行った。かたまりの単語で読めるものが増えた。

教材教員名	ひらがなの学習(2)	分類	記号を使う学習 — 単語
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> イラストをみて、ひらがなやカタカナの単語のマッチングをすることができる。 		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- イラストをみて、それが示す単語カードを貼る。

<工夫点>

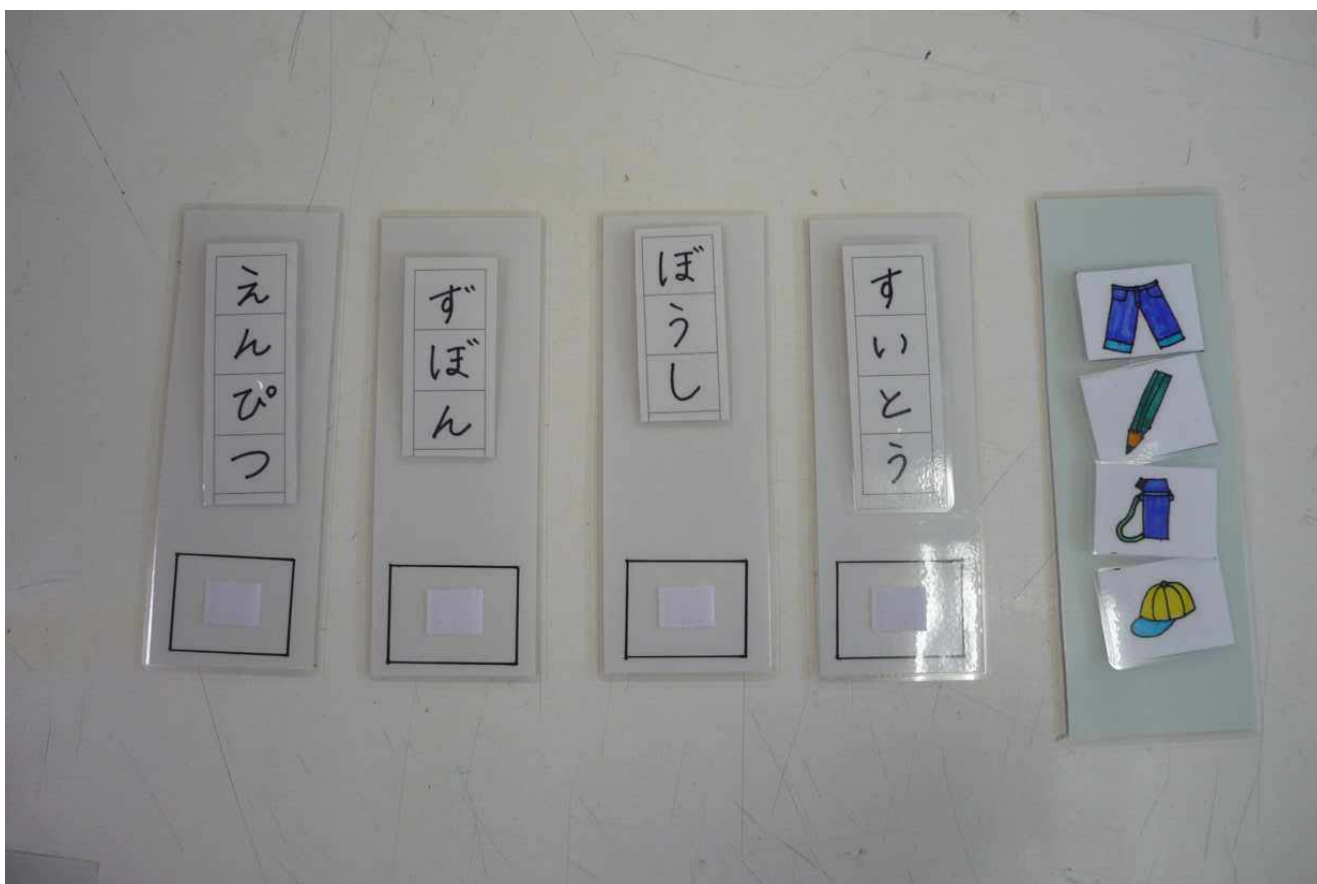
- 音韻の数に合わせた○シールを貼り、今後単語ではなく、1文字ずつの単語の構成につながるようにした。

<効果>

- 普段教室内で見ているイラストと文字のマッチングを行った。かたまりの単語で読めるものが増えた。

教材教具名	物の名前とイラストのマッチング	分類	記号を使う学習 - 単語
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 身近な物の名前とイラストをマッチングさせる活動を通して、物の名前を覚えたり、字を読んで書かれていることを理解したりする。 濁音や拗音等の読み方を知る。 		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ① シートを提示し、文字を読ませる。読み方に誤りがあった場合は、正しい読み方を伝える。
- ② 4枚のイラストを提示し、「どれですか？」と質問する。イラストを選択させ、文字の下に貼らせる。
- ③ 文字カードを裏返し、答え合わせをする。

<工夫点>

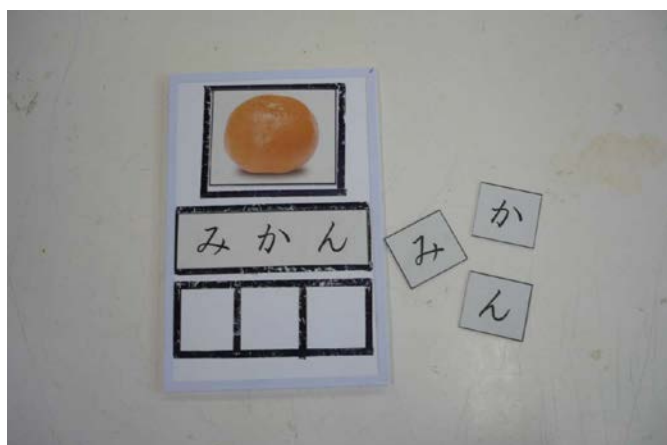
- ・シート裏にすべり止めを付けて固定しやすくした。
- ・正解が見て分かるように文字カードの裏にイラストを貼り、答え合わせを行った。

<効果>

- ・濁音、半濁音の読みが不十分だったため、それらが混じる単語を中心に組み組んだ結果、読み方に慣れ、正しく読むことが多くなった。

教材教具名	単語構成 1	分類	記号を使う学習 - 単語
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> イラストを見て文字チップを並べる活動を通して、文字を正しく構成する力を養う。 文字と音の一致を定着させる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ① シートを提示し、「これは何ですか？」と質問する。
- ② 文字チップをばらばらに提示し、「くるま、正しく貼ってください」と伝え、貼らせる。
- ③ 並べ終わったら、答え合わせシートを文字チップの下に貼り、答え合わせをする。誤りがあった場合は、答え合わせシートを見ながらやり直させる。

<工夫点>

- ・シート裏にすべり止めを付けて固定しやすくした。
- ・正解が見て分かるように答え合わせシートを用意した。

<効果>

- ・はじめは使用する3文字のみを提示したが、今後は紛らわしい文字（「る」と「ろ」、「ば」と「ぼ」等）を混ぜながら取り組み、さらに見る力や読む力を伸ばしていきたい。

教材教員名	文字マッチング	分類	記号を使う学習 — 単語
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で使用する物の名称を文字と一緒に覚える。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ファイルについている袋からひらがなの文字チップを取り出し、マッチングをする。
- 最後の一枚は見本の文字を見ないで文字チップを並べる。

<工夫点>

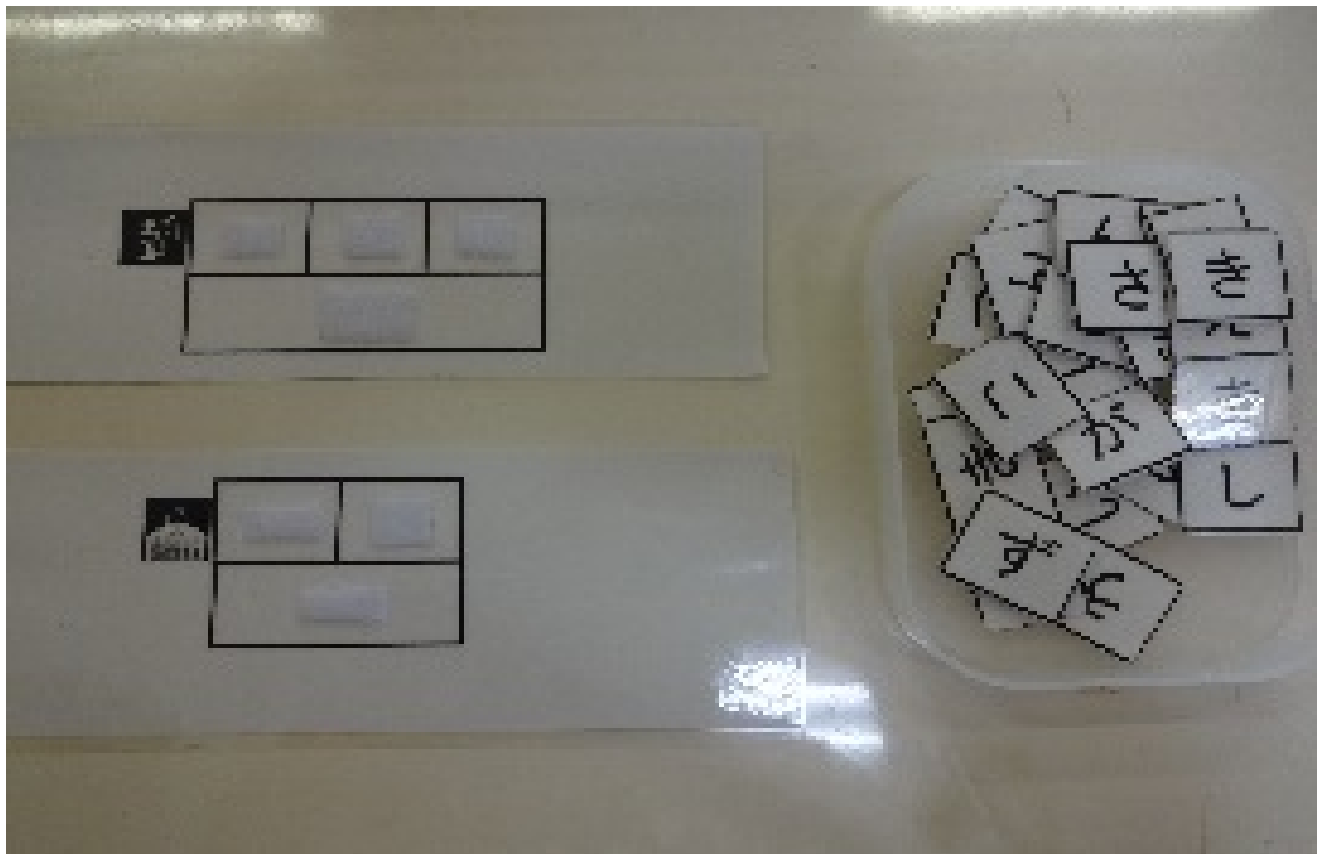
- カードの位置や提示する順番を覚えることがあるため、毎回、入れ替えができるように単語一つに一枚のカードを用意した。

<効果>

- 「かばん」や「ぼうし」などの単語は見本がなくても、文字チップを並べることができた。

教材教員名	単語構成 2	分類	記号を使う学習 - 単語
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	・日常生活でよく目にしている文字の、文字構成が正しくできる。		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・ピクトグラムの絵カードを見て、単語を構成する。

<工夫点>

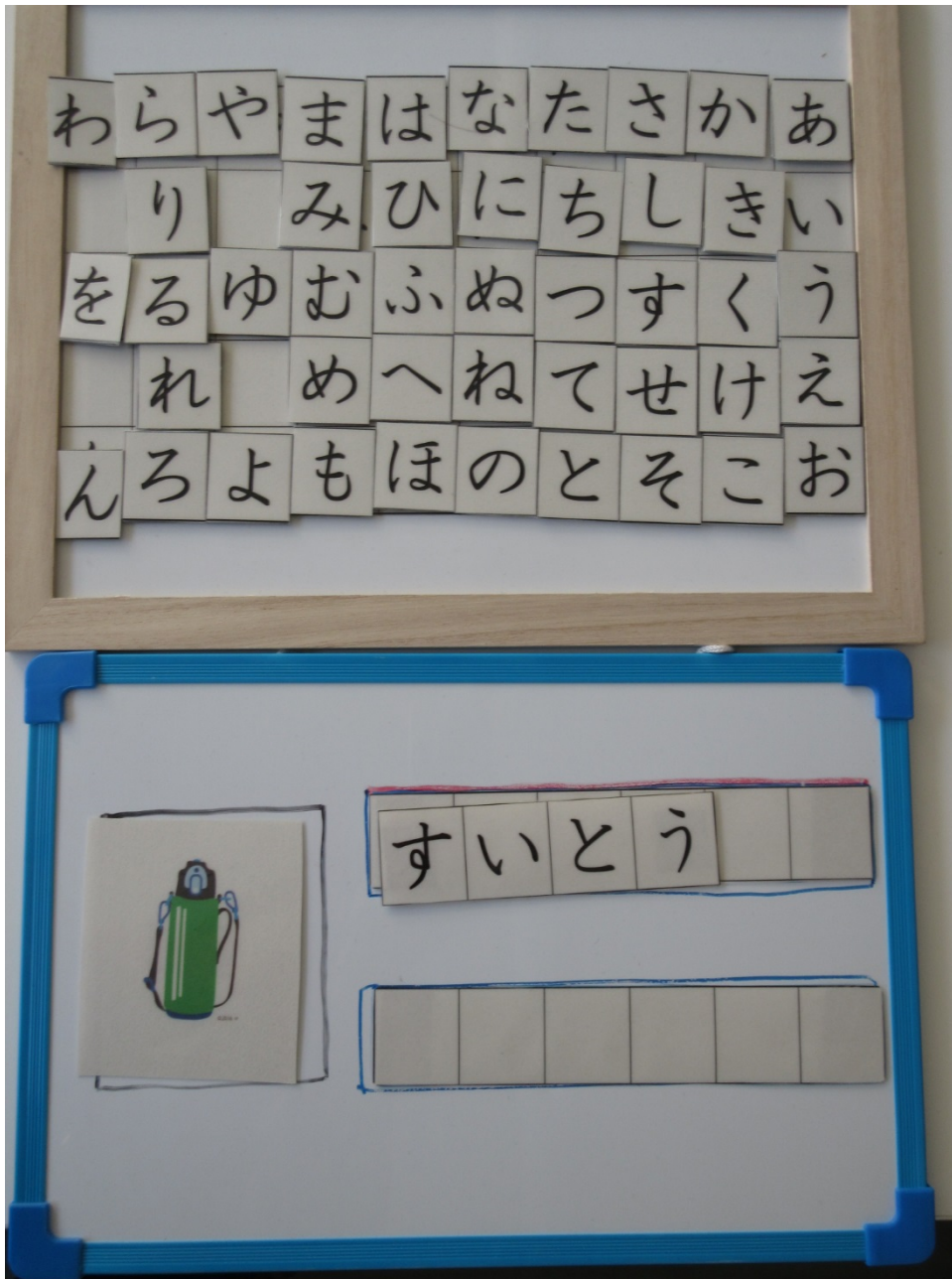
- ・児童が自分で間違いに気づけるよう、答え合わせを行う時、児童が構成した単語の下に正しいカードを置いて確認できるようにした。

<効果>

- ・5～6文字までの単語構成ができるようになった。
- ・1文字1音が理解でき、ひらがな50音の清音が読めるようになった。

教材教員名	単語を作ろう	分類	記号を使う学習 - 単語
		授業名	国語・数学 (中学部)
ねらい	・ひらがなの文字を選んで単語を作れるようになる。		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・50音表からひらがなの文字を選んで、単語を作る。

<工夫点>

- ・50音表と単語作成のボードを別に用意した。
- ・本人が身近に感じられるよう「くれよん」や「すいとう」など日常生活で使う単語に取り組みさせた。

<効果>

- ・「すいとう」のイラストを見て、4つのひらがなを50音表から取り出すことができた。

教材教具名	たし算（リングの操作）	分類	記号を使う学習 - 計算
		授業名	国語数学（高等部）
ねらい	・ 具体物を操作しながらたし算を学習する		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ 数字に合わせて、リングを同じ数、用意する。リングを実際に操作して、たし算の答えを導き出し、答えの数字カードを選ぶ。

<工夫点>

- ・ 答えには 10 の位と 10 を表す大きいリングを用意した。

教材教具名	金種（硬貨）の学習	分類	記号を使う学習 - お金
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 硬貨（1円、5円、10円、50円、100円、500円）がわかるようになる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ラミネートされた硬貨のカードを見て、何円玉か選んではりつける。（マッチングさせる）
（「〇円玉→硬貨をはる」パターンもあり）

<工夫点>

- 何度も繰り返して使える。
- 繰り返しているうちに覚える。

<効果>

- 繰り返し取り組んでいるうちに覚えることができ、自信を持って声をだしている。

教材教具名	お金そろばん	分類	記号を使う学習 - お金
		授業名	国語・数学 (中学部)
ねらい	・さいふの中身を金種ごとにならべさせ、10円玉と100円玉を合わせて支払うことを学習する。		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・板にさいふの中のお金を金種ごとに並べる。
- ・指定された金額を、そろばんのように硬貨を移動させる。
- ・答え合わせは、カードで行う。

<工夫点>

- ・そろばんの一番上にホワイトボード用のペンで金額を書けるようになっており、繰り返し消して練習ができる。
- ・さいふから出して並べることで、より身近にお金を感じることができる。

<効果>

- ・「100円」、「20円」はそれぞれ出すことができても「120円」となると理解が難しかった生徒も取り組むことができた。

教材教具名	お金そろばん	分類	記号を使う学習 - お金
		授業名	国語数学（高等部）
ねらい	・そろばん状に並べた硬貨を使用しながら、1円玉5枚と5円、10円玉5枚と50円、100円5枚と500円が等価であること。5、50、500円と合わせて支払いをすることを学習する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・枠にそろばん様に硬貨を並べる。（1円玉5枚と5円、10円玉5枚と50円、100円5枚と500円が等価であることを理解）
- ・指定の金額に対して、そろばんの様に硬貨を移動させて、支払う金額を確認する。

<工夫点>

- ・そろばんとして使用できるようになることで、たし算での利用につなげる。
- ・硬貨そのものを使用することで買い物時に応用できるようにする。

教材教員名	アナログ時計のマッチング	分類	記号を使う学習 - 時計
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> アナログ時計を見て、同じ時刻を示す時計を選ぶことができる。 		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



〈使用方法〉

- 見本と同じ時刻を選び貼る。

〈工夫点〉

- デジタル時計を読むことができ、TV 番組に興味関心のある児童を対象に行った。番組と同じ順番で行うことで、時計の形の変化にも気づけるよう工夫した。

〈効果〉

- マッチングをすることができた。
- 意欲的に取り組むことができた。

教材教員名	時間と時計のマッチング	分類	記号を使う学習 - 時計
		授業名	国語数学 (中学部)
ねらい	・30分単位で時計を読むことができるようになる。		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・時計 (時間) を1つ提示した後、時間 (時計) を2つ提示し、正しい方に貼る。



アナログ時計で答え合わせをする。

<工夫点>

- ・マジックテープを活用することで、選んだ後、自分で貼れるようにした。
- ・「時」を示す針を赤くすることで、「時」と「分」が区別できるようにした。

<効果>

- ・長い針を「時」と読んでいた生徒が、「〇時」なのか「〇時30分」なのか判別できるようになった。

教材教具名	時計の針を合わせよう	分類	記号を使う学習 — 時計
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えの時刻を教室の時計で意識できるようになる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・「朝の会」「着替え」「帰りの会」の時刻を一つずつ提示し、時計盤の針を動かして合わせる。

<工夫点>

- ・時刻を示したカードと同じ時刻に時計の針を合わせられるように時計盤を使用した。

<効果>

- ・着替えに行こうとした時に、時計盤を見せることで待てるようになってきた。

教材教員名	アナログ時計「分」の学習	分類	記号を使う学習 - 時計
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> アナログ時計で、長針が「分」を指すことを知る。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・教員と一緒に、時計の針を動かしながら、分を数える。
- ・5分進むごとに「分」が示されたマグネットシールを貼る。

<工夫点>

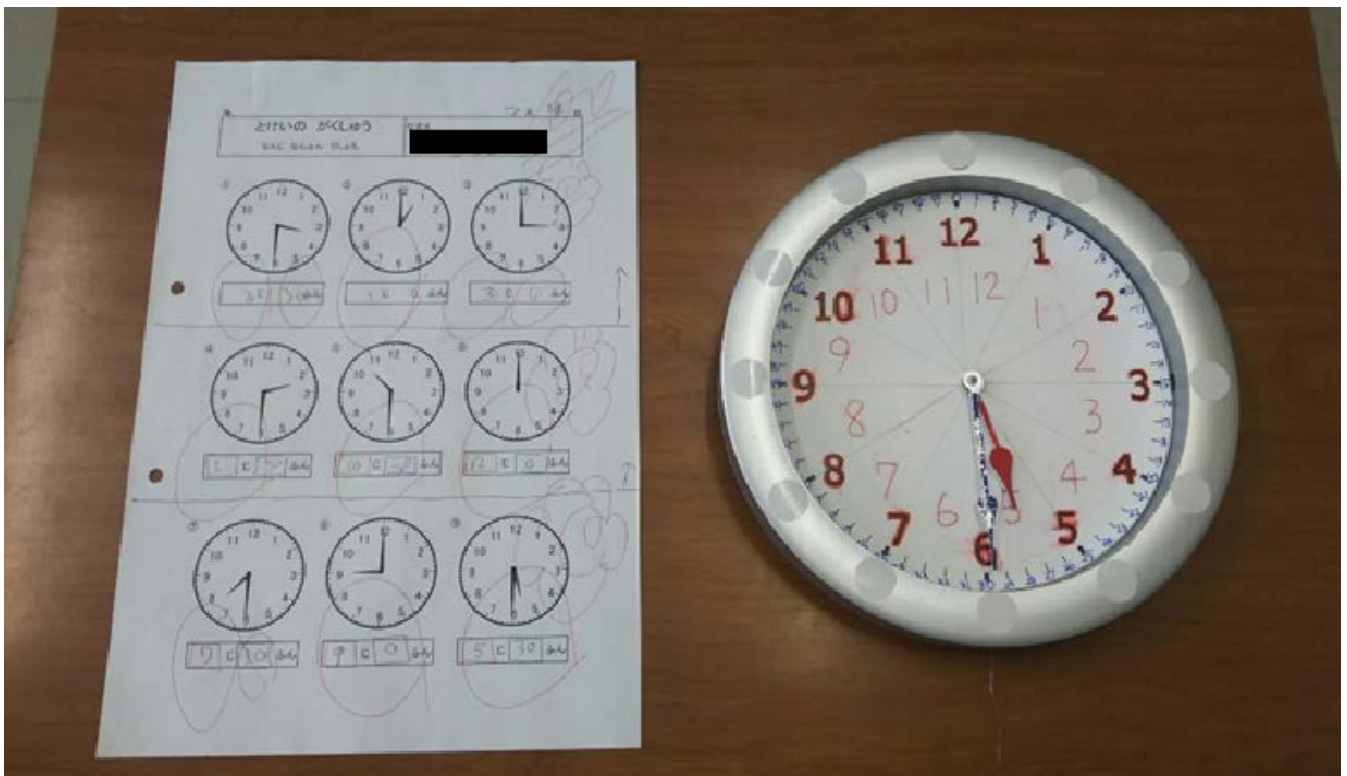
- ・長針と短針で色を分け、分に注目できるようにした。

<効果>

- ・時計の学習の初めに行った。1つずつ数えていくことで「1=5分、2=10分・・・」であることや時計が進むと数が増えていくことに親しむことができた。

教材教員名	〇時〇分を読もう	分類	記号を使う学習 - 時計
		授業名	国語数学 (高等部)
ねらい	・長針と短針が示す時刻を正しく読むことで、日常生活での時間の意識に繋げる。		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・プリントで指定された時刻を見て、時計の針を動かす。
- ・プリントが示す時刻と同じ状態にできたら、時刻を読み、プリントに記入する。

<工夫点>

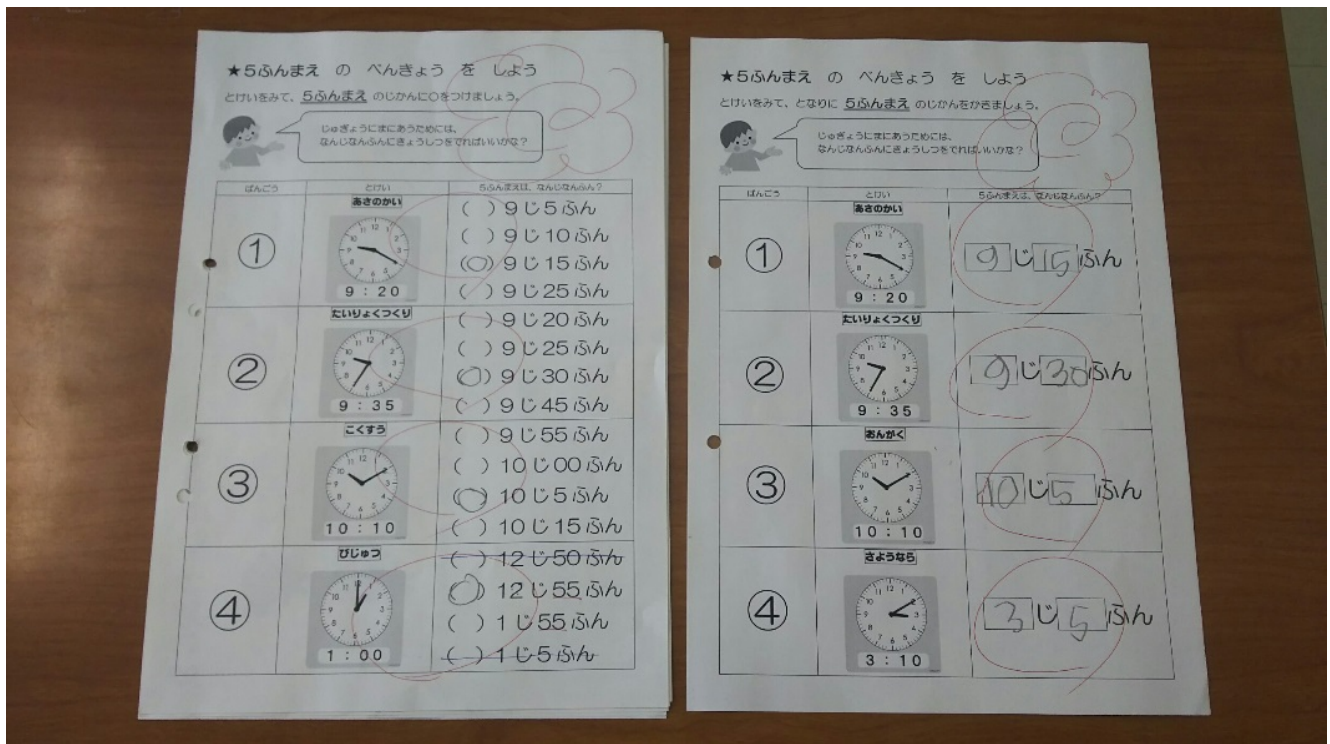
- ・長針と短針を色分けして、それぞれの示す時刻を文字盤に同じ色で書くことにより、読みやすさに繋がるようにした。
- ・操作性を取り入れることで、達成感を味わえるようにした。

<効果>

- ・長針と短針を色分けすることにより、この時計での時、分の読み間違いが無くなった。
→読む事は徐々にできるようになってきたが、日常生活での時間の意識はまだ薄い。

教材教員名	5分前の勉強をしよう	分類	記号を使う学習 - 時計
		授業名	国語数学 (高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 5分前の時刻を読む練習を積み重ね、自分で時計を見て行動できるようにする。 		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- 左側の時計の時刻を読み、「5分前はなんじなんふん？」と書かれた右側の時刻に○をつける。

<工夫点>

- 問題の内容を授業の時刻と絡めて、般化できるようにした。
- プリントを2パターン用意して、難易度をつけた。

<効果>

- 休憩時間に国数のファイルを開き、移動の前にプリントを見て復習している様子が見られた。

→1学期終盤には、プリントを見ずとも、授業開始の5分前になると「0分になりましたよ！」と友だちに声をかけることができるようになった。

教材教員名	午前・午後を知ろう	分類	記号を使う学習 - 時計
		授業名	国語数学 (高等部)
ねらい	・1日の流れを知ることで、時計を見て行動することに繋げる。		

教材教員の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・午前と午後の概念を確認してから、下の問題の当てはまるほうに○をつける。
- ・表に書かれた出来事と問題を照らし合わせながら取り組む。

<工夫点>

- ・表を見て取り組む問題と、ヒント無しの問題を混ぜることで、自分で考えて取り組めるようにした。

<効果>

- ・日常生活での会話の中で、「今は午前だよ」と教員に伝える場面が出てきた。
- ・「とけいえほん」と併用する事で、時刻を読む音声を真似して、時間への興味（「はやいね」「おそいね」等の発言から）が少しずつ生まれてきた。